中電環境テクノス株式会社

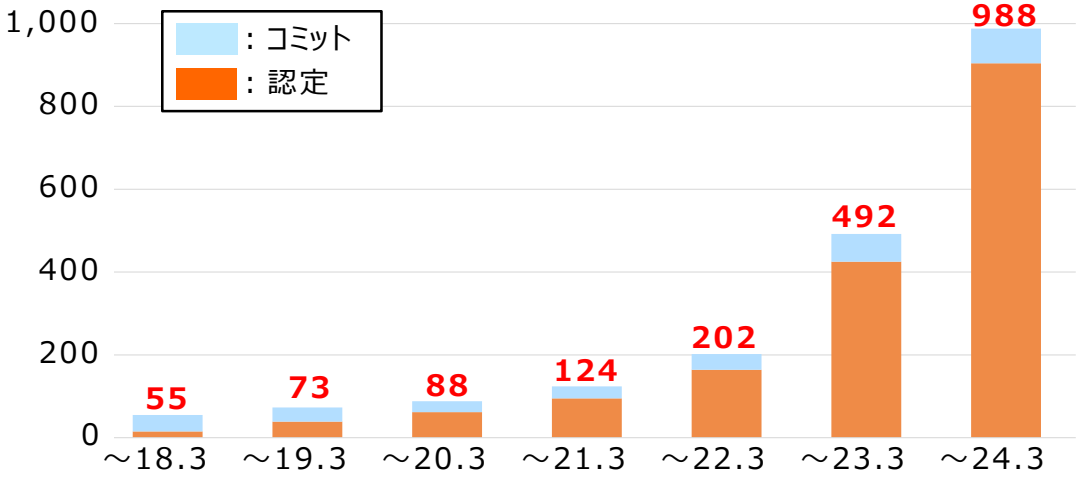
事業者様向け

# SBT認定取得支援

**脱炭素の取組みを“分かりやすく“PRできるSBT認定の取得をご支援！**

## ◆ SBTに参加する企業が年々増加！

### SBT国内認定数（24年3月1日時点）




出典：環境省「SBT（Science Based Targets）について」より加工

**メリット01**

### 脱炭素の取組みをPRすることによる企業ブランドの向上

✓ SBTは国際イニシアティブであり、取得すると公式HP等で社名を掲載。取引拡大に繋がるケースも。

**メリット02**

### 取引先からのアンケート対応による取引喪失リスクの回避

✓ SBT認定企業には、サプライヤーへ“SBT認定を取得させる”目標を設定する企業も存在。

**メリット03**

### 金融機関などからの融資機会の拡大

✓ 削減目標を達成することで、金利引き下げ等のインセンティブが得られる形での融資も。

| 中小企業版 | 通常版 |
|---|---|
| 共にサポート可能 | |

定期的に要件が変更。
最新情報のウォッチはお任せ！

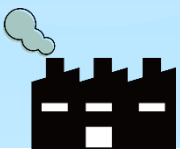
## ◆ SBTの要件（2024年3月1日時点）

※：最新情報はお問い合わせください。

| | 中小企業版 (2024年1月1日以降) | 通常版 |
|---|---|---|
| 対象 | ■ **下記の5項目をすべて満たさなければならない**<br>① Scope1とロケーション基準のScope2の排出量合計が10,000 $tCO_2e$未満であること<br>② 海運船舶を所有または支配していないこと<br>③ 再エネ以外の発電資産を所有または支配していないこと<br>④ 金融機関または石油・ガスセクターに分類されていないこと<br>⑤ 親会社の事業が、通常版のSBTに該当しないこと<br>■ 上記の必須要件5項目に加え、**以下の4項目のうち3項目以上を満たさなければならない**<br>① 従業員が250人未満であること*<br>② 売上高が5,000万ユーロ未満であること**<br>③ 総資産が2,500万ユーロ未満であること**<br>④ 森林、土地および農業(FLAG)セクターに分類されないこと | ■ 特になし。 |
| 目標年 | ■ 2030年 | ■ 申請時から5年～10年以内の任意年 |
| 基準年 | ■ 2015年～2023年から選択 | ■ 最新のデータが得られる年を推奨 |
| 削減対象範囲 | ■ **Scope1,2**排出量 | ■ **Scope1,2,3**排出量<br>（但し、Scope3がScope1～3の合計の40%を超えない場合には、Scope3目標設定の必要は無し） |
| 目標レベル | ■ Scope1,2<br>1.5℃：少なくとも**年4.2%削減**<br>■ Scope3<br>算定・削減（特定の基準値はなし） | ■ Scope1,2<br>1.5℃：少なくとも**年4.2%削減**<br>■ Scope3<br>Well below 2℃：少なくとも**年2.5%削減** |
| 費用 | ■ 1回**USD1,250**(外税) | ■ 目標妥当性確認サービス**USD9,500**(外税)<br>（最大2回の目標評価を受けられる）<br>■ 以降の目標再提出<br>1回**USD4,750**(外税) |
| 承認までのプロセス | ■ 目標提出後、デューデリジェンスが行われる | ■ 目標提出後、事務局による審査（最大30営業日）が行われる<br>■ 事務局からの質問が送られる場合もある |

* 組織が雇用する全ての従業員数。パートタイマーの従業員を含む
** 申請を行う事業者が、準拠しているかの確認を行うために、収益と資産額を確認できる財務諸表の提出が必要

出典：環境省「SBT（Science Based Targets）について」より加工



問合せ先 中電環境テクノス株式会社　カーボンニュートラルGr
メール ckt-cn@tec.gr.energia.co.jp 電話 082-242-0294


Energia 中国電力グループ